

危険なメールによる被害が増えています

インターネット機器をウイルス感染させたり、個人情報をだましとったりすることを目的とした危険なメールによる被害が相次いでいます。従来の迷惑メールと比べて、その手口は巧妙化しており、被害にあわないようにするためには、対処法を知っておく必要があります。

実際にどのようなメールが送られてくるのか

危険なメールにはどのようなものがあるのか、以下に例を紹介します。

差出人：“○○○○” <××××@○○○○.com>

件名：<緊急！○○○○ 重要なお知らせ>



「○○○○」の部分は、
実在する企業の名前に
似せて使われています

こんにちは

アカウントで異常な動作が検出されたため、お客様の資産への損害を防ぐためにアカウントをロックします。ご不便をおかけして申し訳ございません。

できるだけ早くアカウントを復元するために、下のリンクをクリックしてください。または、このリンクをブラウザにコピーしてください。公式サイトに入り、画面の指示に従ってください。

<https://××××/○○○○>

○○○○ 敬具



このリンクをクリックすると、本物そっくりの偽サイトが開かれ、個人情報を入力するよう誘導されます。

他にも、実在する業者の名前を使って、身に覚えのない商品の発送メールを送ったり、流出した情報を使い、受信者の知り合いになりすましてメールを送ったりして、添付ファイルを開かせウイルス感染させようとするものなどがあります。



被害にあわないようにするために、このような点に注意してください

- 不審なメール、及びメールに添付されたファイルは開かず、削除する。
- 不安をあおるような文面のメールが来てもあわてずに、まずはそのサービスやサイトを利用した覚えがあるか冷静に考え、覚えがない場合はメールを削除する。利用した覚えがあっても、添付ファイルやURLリンクを開くのではなく、送信元のアドレスやメールの文面の一部をインターネットで検索して被害報告がないか確認したり、公式サイトに問い合わせたりして、本物かどうかを確認する。
- 知り合いからのメールでも、内容が不審な場合は、添付ファイルやURLリンクを開かず、本人に直接確認する。

インターネット機器にフィルタリングソフトやウイルス対策ソフトを導入した上で、不審なメールが送られてきたときの対処法を、子どもたちに指導しておくことが大切です。